

埼玉県 **M**injikyō **D**ayori

民児協だより

Your smile makes everyone happy



写真／ブルーインパルス（航空自衛隊HPより）

航空自衛隊の存在を多くの人に知ってもらうために、航空自衛隊の航空祭や国民的な大きな行事などで、華麗なアクロバット飛行（展示飛行）を披露する専門のチームがブルーインパルスです。

入間基地（狭山市）の「入間航空祭」においてもパフォーマンスが披露されます（今年の航空祭開催は未定）。

目次

- 2p…………… 令和4年度 埼玉県民児協事業計画・予算
- 4p…………… 部会活動報告 ー広報部会ー
- 5p…………… 部会活動報告 ー研修部会ー
- 6p～7p… 部会活動報告 ー地区民児協支援部会ー
- 8p～9p… 一斉改選に向けた各市町村の取組/
令和3年度全国民生委員指導者研修会受講報告
- 10p…………… 埼玉ゆかりの偉人紹介（西崎 キク氏）、
主な予定、編集後記



県民児協
ホームページも
ご活用ください！



》 <http://www.saitama-minjikyō.or.jp>

埼玉県民児協だよりでは、「民生委員・児童委員協議会」を「民児協」と表記しています。



この広報紙は、共同募金の配分金により発行されています。

令和4年度「事業計画及び収支予算」

3月に開催された第171回理事会
および第162回評議員会において、
令和4年度の事業計画と収支予算が承
認されました。

1. 運営方針

- ① 公益活動の推進
- ② 市町村民児協との連携強化
及び財政の確立
- ③ 民生委員・児童委員への支
援と活動に資するための研修
強化
- ④ 埼玉県及び埼玉県社協と連
携のもとに、新たな組織構成
に基づく会務の運営と事業の
推進
- ⑤ 一斉改選による任期満了に
伴う本会役員の新体制の整備
と強化推進
- ⑥ 「100周年活動強化方策」
及び「全国児童委員活動強化
推進方策2017」の一体的
な取り組みの推進

2. 重点目標

- ① 4部会による民生委員・児
童委員活動の充実発展と強化
推進
- ② コロナ禍における活動環境

整備

- ③ 市町村民児協組織の整備を
推進
- ④ 生活福祉資金借受世帯の相
談援助活動を推進
- ⑤ 「100周年活動強化方策」
に基づく取り組みの推進
- ⑥ 民生委員・児童委員による
災害時要援護者支援活動の強
化・充実
- ⑦ 民生委員・児童委員の適切
な人材確保に向けた環境整備
- ⑧ 執行体制、業務遂行による
内部充実の整備と強化推進
- ⑨ 一斉改選後の継続した個別
支援活動および組織活動の支
援

3. 事業概況

① 公益目的事業

a. 生活相談等活動推進事業

ア 福祉相談推進事業

- ・生活福祉資金貸付制度説明会
- ・民生委員実費弁償費の交付

・孤立防止推進事業

- ・民生委員・児童委員による交通
事故防止・防犯等に係る声かけ
運動への協力
- ・在宅福祉活動の推進
- ・研修用視聴覚教材の貸出し
- ・講師派遣

イ リーダー研修事業

- ・全国民生委員指導者研修会（全
国民生委員大学）
- ・民生委員・児童委員リーダー研
修会

ウ 埼玉県民生委員・児童委員大 会開催事業

- 開催日 9月5日
- 会場 埼玉会館・大ホール

b. 民児協育成・指導事業

ア 地区別協議事業

- ブロック別市町村民児協会長連
絡会議の開催
- 開催日

- 東部（春日部市） 6月29日
- 西部（狭山市） 7月8日

- 南部（川口市） 7月11日
- 北部（行田市） 7月5日

イ 民児協育成事業

- 第25期指定民児協2年目の助成
と援助

c. 活動調査研究事業

ア 分野別活動調査研究事業

研修部会

- ① ゼロから学ぶりモート会議の
いろは
- ② 親子を取り巻く諸問題の実態
と解決策
- ③ 福祉に興味のある方々（特に
大学生）に向けた民生委員・児
童委員に関する講義への講師派
遣
- ④ 埼玉県社協が県から受託実施
する研修事業への協力（会長・
副会長研修、課題別研修、主任
児童委員研修、新任研修）

地区民児協支援部会

- 62市町村民児協会長による意見
交換会の開催

「テーマ」

- ① 一斉改選
- ② 地区民児協の運営
- ③ 他機関との連携
- ④ 会長のお悩み相談室

広報部会

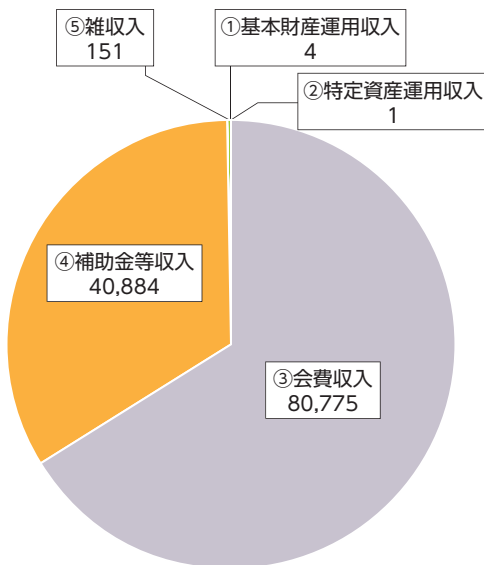
- ① 埼玉県民協だよりの発行（4月、7月、10月、2月）
- ② PR活動
- ・ラジオ放送
- ・広報誌掲載
- ・PRチラシ作成・配布
- ・イベント参加
- ③ ホームページ改修
- ④ 活動ハンドブック作成
- ⑤ 新任部会員に対する研修

主任児童委員部会

- ① 主任児童委員認知度アップ
- ・PRパンフレットのひな型作成
- ・活動ハンドブック作成
- ② 不登校児童
- ・関係機関との意見交換
- ・市町村をまたいだ情報共有
- ③ 児童虐待
- ・関係機関との意見交換
- ・問題の発生を未然に防ぐ体制づくり
- ④ 貧困・ヤングケアラー
- ・行政や関係機関と連携し、問題解決に向けた取組

収入の部

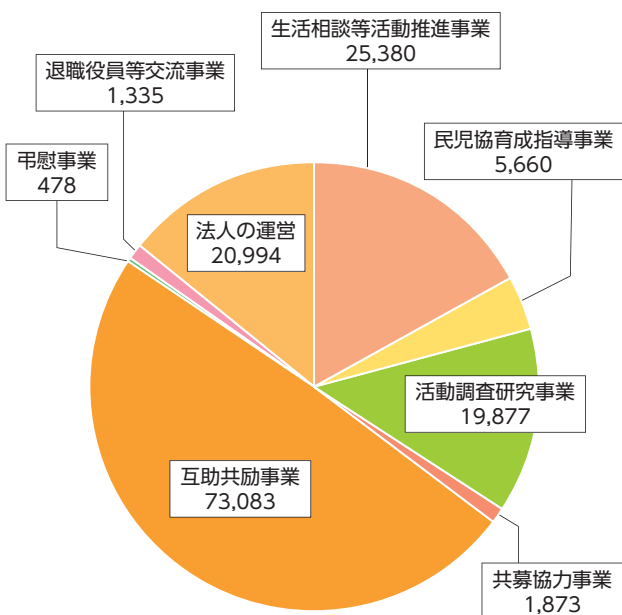
合計 121,815



公的ボランティアの民生委員・児童委員の会費で活動しています。
(単位：千円)

支出の部

合計 148,680



(単位：千円)

※詳細につきましてはホームページをご覧ください。

ウ 研究協議事業

- ・ヤングケアラーの実態について県内の委員に情報発信
- イ 活動調査事業
- ・「民生委員・児童委員の日」及び「活動強化週間」の取組み状況調査
- ・一斉改選後の単位民児協会長・副会長および定数・現員数の調査
- ・第91回全国民生委員・児童委員大会
- ・全国社会福祉大会
- ・関東ブロック内の都県市民生委員・児童委員大会
- ・都道府県・指定都市民児協事務局会議

イ 共励事業

- ・関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会
- ・全国児童委員・主任児童委員活動研修会
- ・民生児童委員、保護司連絡会
- d. 共同募金事業への協力事業
- (2) 収益事業等
- a. 互助共励事業
- ア 互助事業
- ・全国民生委員互助事業の運営
- ・本県独自の互助事業の運営
- ・互助事業運営委員会を開催
- ・「個別管理基礎調査票」の整備
- ・理事、監事及び評議員県外視察

幹旋、配布

- b. 会長手帳その他の関係資料等の
- ⑦ 市町村民児協事務担当者連絡会議
- ⑥ 市町村民児協会長会議
- ⑤ 総務特別委員会
- ④ 監事会
- ③ 評議員会
- ② 理事会
- ① 正副会長会議
- a. 会務の運営
- (3) 法人の運営
- c. 退職役員等交流事業
- b. 弔慰事業
- 研修

部会活動報告

令和4年度 着実にスタート

令和4年度も各部会は事業計画を基に動き出しました。
更なる取組で、全民生委員・児童委員へ情報提供して
いきます。

広報部会

●県内コミュニティ放送11局で発信

令和4年5月12日（木）「民生委員・児童委員の日」に、県内のコミュニティ放送局11か所から、県民児協番組「支え合いたい、地域とともに」を放送しました。

民生委員・児童委員の歴史や性格、日頃の活動内容、一斉改選についてPRを放送しました。



こしがやエフエムのスタジオ収録の様子

放送局がある市町村民児協会長
からひとこと
(11名)

◆川越市 芝波田 静香

周知への課題もありますが、地域の方にも、身近に感じてもらえるよう聴いて欲しかった内容でした。

◆熊谷市 寺田 治子

これからのFMラジオ放送は、民生委員活動をリアルに発信していきたいです。

◆川口市 大谷 富夫

改めて活動をラジオで語られると納得しました。「小さな役所」が心に残ったという委員が多数いました。

◆秩父市 宮下 昭

民生委員の存在、役割、活動等も説明され、良かったです。PRを続けることが大切です。

◆本庄市 茂木 秀夫

民児協の作製物でインパクトがありました。地元の作製で地元の出演が望まれます。

◆鴻巣市 酒巻 喜久子

対談方式は良かったです。親近感があり、歌も久しぶりに聴くことができました。

◆深谷市 河田 英雄

民生委員・児童委員の日に新たな

な歴史が生まれた。埼玉県民児協のPR活動に万歳！

◆越谷市 齊藤 峰雄

地域の情報も含めて活動のPRをすると、さらに充実すると感じました。

◆入間市 臼井 秀

民生委員成立から今のコロナ禍での活動、一斉改選までまとめ、よく理解できました。

◆朝霞市 土佐 隆子

わかりやすく良かったです。反響、感想等、後日調査予定です。

◆三芳町 三瓶 スミ子

短時間の中で三芳町民児協の活動を簡潔に話していただき大変良かったです。

●民生委員・児童委員、主任児童委員活動ハンドブック作成委員会

令和4年4月25日から作成委員会を開催しています。

日頃の活動や新任研修、定例会等で活用いただけるようまとめまいります。

PR放送をした コミュニティFM放送局一覧

No.	放送局名	市町村
1	ラジオ川越	川越市
2	FM クマガヤ	熊谷市
3	FM Kawaguchi	川口市
4	ちちぶエフエム放送	秩父市
5	ほんじょうFM	本庄市
6	フラワーラジオ	鴻巣市
7	FM ふっかちゃん	深谷市
8	ハローハッピー こしがやエフエム	越谷市
9	エフエムチャッピー	入間市
10	ナナコライブリー エフエム	朝霞市
11	発するFM	三芳町

研修部会

—DVD配布による

研修を実施しました—

コロナ禍において対面での研修開催が難しい中、県民児協として初めてDVD配布による研修を実施いたしました。今後の委員活動の取り組み方や日頃の活動の悩み等について、各市町村の地区定例会で意見交換等を実施する際に活用ください。

●研修DVDの概要

テーマ「コロナ禍における貧困

問題・見守り活動」

講師…埼玉県民生委員・児童委員協議会 会長 大谷富夫

(1) コロナ禍における民生委員・

児童委員活動

2年越しで世界を揺さぶり続け、いまだに収束を見せていない新型コロナウイルスの猛威は我々の活動にも大きな影響を受けています。

高齢者の安否確認や子ども達に対する支援が滞らないように試行錯誤の毎日ではなかったでしょうか。ポスティングによる情報提供やインターホン越しや電話による安否確認など非接触をとらざるを

得なかった委員もたくさんいらっしゃると思います。

(2) 民生委員・児童委員活動のこ

れまでとこれから

民生委員・児童委員活動の中で70%前後ある高齢者問題を踏まえて新たに着任する委員にお願いしていることの一つに、高齢者との距離を縮めるにはそのお方の人生で一番輝いていた時を早く見つけることをお勧めしています。

民生委員・児童委員は個人での活動が中心です。いかに早く相談者と行政を繋げるかを考えます。単身高齢者の中には委員の訪問を拒む方も多くいらっしゃいます。まずは寄り添ってみて相手の目線に立っての活動ができればと思います。

(3) 現代を救う民生委員・児童委

員の在り方

今年は3年に一度の改選期を迎えますが地域に沿った解決策を見出していく全民児連の方策と、市町村から発出され活動する事業の2つがあると思います。

人生100年時代、民生委員・児童委員活動は時代が変われど地域の縁の下での力持ちに変わりはありません。

令和5年には「こども家庭庁」が立ち上がります。子どものことを考えた時に家庭全体を抜きにしては考えられません。長年子どもへの権利に精通して来られた委員たちの積み重ねた多くの経験は「こども家庭庁」にとっても大きな財産となることでしょう。

地域のつなぎ役として、小さな役所、頑張りましょう！

講義内容を紙面の都合で一部割愛していますが重要な項目をまとめさせていただきます。

(武田 和子)

●未来へ繋ぐ

◆令和4年度民生委員・児童委員

研修について

事業計画アンケートの回答上位二つと、大谷会長からの依頼を基に、3つの事業をグループごとに実施します。

グループ① リモート会議のいろは

リモートに関する知識から民生委員・児童委員に役立つものを厳選し研修を企画します。まずは部会員がリモート会議を実際に経験し理解することから取り組みます。

グループ② 子育て支援と見守り活動

近年増加している親子を取り巻

く社会問題への支援方法を模索します。講師・内容については、決定次第報告させていただきます。

グループ③ 大学への講師派遣

県民児協から提供する情報の基準について整備し、依頼のあったものについて協議のうえ派遣者や講義内容を決定します。若者に対しての民生委員・児童委員活動を周知するとともに、福祉を学ぶ学生に生の声を届けられればと思います。

桜美林大学からの依頼を受け、令和4年6月2日(木)に「地域福祉論」の授業に講師として大谷会長がリモート出席しました。民生委員活動について自身の経験を踏まえながら30分程度講義をした後、大学生との質疑応答を行いました。「必要な知識や免許は必要?」、「具体的な活動時間は?」など多くの質問が学生から届き、民生委員・児童委員に対する興味、関心の高さに驚かされました。授業を通じて若者への活動周知に引き続き取り組んでまいります。

(矢島 静江)



による意見交換会を実施

について

斉改選について「欠員」「年齢制限」「推薦者」の3つのテーマについて
社課の職員をお招きし、日頃の疑問や要望等の情報交換をいたしました。

意見交換

◆テーマ1

欠員



金杉 明

動は、令和4年11月30日をもって今任期の活動を終えることとなります。

近年、新任期がスタートするに併せて「欠員」の問題が多く、多くの民児協にとって課題となり、また負担でもあります。

「担い手」が見つからない、こんな状況は、私たちの活動にとって考えることのできない形ですが、これが今の有る形な



のだと思います。

5月25日「一斉改選62市町村民児協会会長意見交換会」が開かれ、それぞれのテーマで意見交換を行いました。

私たちのグループは「欠員」について、20名を超える民児協会会長での意見交換となり、発言者の一言一言に共感し、また共有したいと感じたところであります。

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動は地域、そして地域福祉にとって必要不可欠なものだと考えます。さまざまな形で対応し、欠員状態を少しでも減らして行ければと願います。

欠員についての要因

- ① 男、女共に働き方の変化（候補者が少なくなった）
- ② 人材不足（活動費が低額、仕事が多い）
- ③ 民生委員法が現状にあっていない、制度を変えるべきだ。
- ④ 自治会や町内会で探しているが見つかからない（地域の疎遠化）
- ⑤ その他

◆テーマ2

年齢制限



森田 寛

最初に三つ疑問に思いました。

一つ目は、民生委員・児童委員の何を基準に委嘱時における年齢を75歳未満、特別の理由がある場合は78歳未満としているのか。主任児童委員にあつては、新任の場合は55歳未満、再任の場合は64歳未満としているのか、疑問に思いました。

この前の会議の中で気づいたのですが、市町村によっては諸事情を緩和しているところもあるようです。民生委員・児童委員は職業ではありませんが、会社、公務員等には定年制度があります。また、農林業等、その他（職人等）には定年制はありません。民児協は、できるだけ欠員がないように努力しての結果この年齢になったと思われまふ。その中で議論されたことと思いまふ。埼玉県条例の中に盛り込まないかの意見が多かったです。二つ目は、子どもたちの見守り活動の中でお父さん、お母さ

んたちから相談等受けることがあります。少子高齢化社会で私たちに頼るケースも増しているのでしょうか。主任児童委員は64歳未満ですが定年の延長はないのでしょうか。子育ての先輩として子どもたちを見る目も違います。保護者との相談相手にもなれます。

三つ目に、全国的には年齢制限が同じなんでしょうか。疑問に思います。県によつては、無いところも有ると聞きました。埼玉県も検討の余地が有りませんか。90歳過ぎても夫婦で農業に頑張っている人もいます。高齢化すると全てが鈍くなります。私たち民生委員・児童委員は年齢制限の壁がありますが日々コロナに細心の注意をして活動しています。見守り活動に年齢制限はありません。私たち民生委員・児童委員は無報酬のボランティアで名譽職でもないのを自覚して活動していきます。



62市町村民児協会長

地区民児協 支援部会

— 斉 改 選 —

令和4年5月25日（水）に、62市町村民児協会長を対象にして、一意見交換会を実施しました。意見交換会後には、埼玉県福祉部社会福

◆テーマ3

推薦者

篠木 猛



今回の地区民児協支援部会で、私のグループ

（15市町村の民児協会長）は改選時の「推薦者」をテーマに意見交換を行いました。

地域から民生委員・児童委員、主任児童委員を選出する際、「推薦者」は大変苦勞をして候補者を探し、推薦をします。

しかし、「推薦者」によっ

ては、選出の公平性に欠け、問題に。それを避けるための統一した推薦マニュアルを作った。複数の会長から意見が出されました。その結果を埼玉県社会福祉課の職員に質問をして、答弁をいただ



きました。

今回の問題はごく一部であり、常に問題意識を持って意見交換を重ね、地域の問題に対して適切に支援できる、地区民児協支援部会でありたいと思います。

今回、62市町村民児協会長参加の意見交換会を開催したことは、非常に有意義な意見交換会でした。支援部会は常にこのような会合を開催して市町村の問題を把握し、解決していけるよう取り組みます。

社会福祉課との 情報交換

芝波田 静香

1部でのテーマに沿ったグループワークを基に、2部では県社会福祉課の関口主幹と徳田主事との質問形式による意見交換会でした。

初めての試みでしたが、一斉改選にとどまらず、共通の疑問や悩みにもお応えいただきました。

中でも、一部の地区を除いて大きな課題である欠員については、県全体では4パーセントの欠員率であること、また欠員地区への対応策や活動費は県で統一することは難しく、それぞれの自治体において行政や関係者と連携し、地域の実情に合わせた改善の必要を確認したところです。

また、参考資料として提供された選任基準の内、年齢要件は従来と変わらず、今後若い層の人材確保には負担軽減や委員間の支え合い等、長く

続けて活動できる環境づくりへの対応が必要となります。

一方で、委嘱された後、不適任とみなされる方への解職については、特別職で非常勤の地方公務員のためいきなり解職するというのは難しく、市町村からの指導等、手順を踏む必要があるとの説明でした。

コロナ禍の中限られた時間でしたが、念願でありました62市町村民児協会長が一堂に会する意見交換会実施へのご協力に、心より御礼申し上げます。



回答して下さる県社会福祉課の職員

一斉改選に向けた

各市町村の取組

4 市町村民児協会長から各市町村における一斉改選への取組方法に関する寄稿をいただきました。
民生委員・児童委員のなり手不足は各市町村共通の課題であり、一斉改選取組の参考になれば幸いです。

入間市 民児協

法定委員数

入間市民児協の法定委員数は、252名（主任児童委員数は18名）です。例年2割前後での改選となります。

連合区長会への推薦依頼

令和4年1月14日、杉島市長臨席のもと、入間市連合区長会総会に、福祉総務課（入間市民児協事務局）課長・担当者・入間市民児協会長が、出席し、改選について連合区長会の協力・推薦の依頼の挨拶をしました。

なり手不足

一 介護保険定着

2000年介護保険法が施行され、20年経過し、現在は市民生活に定着してきました。介護保険法施行前では、民生委員・児童委員への負担も大きかったと思います。しかし、現在、デイサービス等利

用は3.3倍、延べ利用者は563万人です。病院・介護は、人生最大の関心事です。この点では、民生委員・児童委員が頼られることは少なくなってきました。

二 高齢者雇用安定法改正

この改正により、高齢者雇用が増加したこと等による民生委員・児童委員の高齢化が顕著になりました。16年度は70代以上が30%になりました。このことも、なり手不足の背景といえると考えられます。

三 周知不足

毎年1回入間市民児協だよりを全戸配布していますが、民生委員・児童委員の活動そのものはまだまだ、理解されていないようです。

PR冊子全戸配布

各単位民児協（9地区）で会長を先頭に定員確保のため、区長会を始め、関係団体等に推薦依頼をしています。

ある地区では、民生委員PR冊

子を2月に全戸配布、数件の問い合わせがありました。

引き続き、粘り強く民生委員・児童委員の活動のPRを進めていきたいと考えています。

（白井 秀）

桶川市 民児協

桶川市の民生委員・児童委員定数は、7地区146名で、うち14名が主任児童委員です。4月1日現在の欠員数は9名です。

現委員の継続意向確認調査

今年度の一斉改選時に向けて、令和3年11月の各地区定例会において、継続の意向確認調査を行い、退任希望者は現員数136名中50名であり、うち11名が定年での退任者となり、再任希望者は86名の回答で、再任率は58%となります。

退任希望委員には、後任候補者を推薦していただいております。

しかしながら、現状では新たな民生委員・児童委員候補者の声かけには大変苦勞をしております。

関係機関への推薦協力依頼

令和4年3月1日付で、各地区自治会長宛てに書面にて、一斉改選の通知および後任候補者発掘の協力依頼をお願いしました。

また、元民生委員・児童委員の皆様にも場合によっては後任候補者の発掘相談にも乗っていただくこともあります。

今後関係機関と連携しながら、後任候補者の発掘にあたりたいと考えております。（中村 文雄）

上里町 民児協

上里町の民児協では11月の定例会にて一斉改選に伴う意向調査の依頼を行いました。特に1期目の方は2期目への継続のお願いをいたしました。令和4年1月の定例会で提出すること、退任を希望する方に

後任の推薦を依頼いたしました。

5月時点で定数62人中60名の回答がありました。40%の継続の希望がありました。半数以上の退任が見込まれています。前回の一斉改選時の新人は32名でした。できるだけ2期目の継続への説得をしていきます。

上里町では民生委員推薦会を20名で構成しており、各自治会長と連携して選定していきます。

上里町民児協では民生委員・児童委員の負担を減らし、民生委員・児童委員の確保を目指して活動をやり易くするために、本来に必要な仕事は何かを精査いたしました。その結果、民生委員・児童委員の負担の軽減が成されました。しかしながら、今回はコロナのため、活動がそれほど活発ではありませんでした。そして活動への理解もあまりできなかったのではと反省しています。

町民の多くの方は民生委員・児童委員の仕事はいっぱいあり大変と思われています。もっと活動のPRをして、それほど負担も無くできますと訴えていく必要があります。負担を感じない様な活動方法を考えて、民生委員・児童委員

を身近に感じてもらうようにし、新任者の確保に努めます。

(岩田 義典)

松伏町 民児協

松伏町の民生委員・児童委員の定数は57名で、うち3名が主任児童委員です。

現在、4地区が欠員となっており、引き続き候補者を探していますが、「なり手不足」で新たな委員を探すのは困難な状況です。欠員地区は、会長・副会長や近隣地区の委員の協力を得て対応しています。

一斉改選に向けては、昨年から事務局が準備を進めており、定年による退任者には後任の推薦を依頼しています。

1月には、現委員に継続意向調査が行われました。3月からは、担当課長が全委員と面談を行い、今後の意向や、日頃の活動について意見を集約しています。

また、退任される方には、後任の方を推薦していただくようお願いしていますが、個人で探すことが困難な場合は、自治会に候補者の推薦を依頼しています。

しかし、自治会に依頼しても推

薦していただけないことも多く、新たな委員を探すのは非常に難しくなっています。

今後も引き続き、民生委員・児

童委員の役割や活動についてPRし、一斉改選に向けて欠員地区が生じないように努めてまいります。

(今井 しげ子)

令和3年度 全国民生委員指導者研修会

(第31回全国民生委員大学) 受講報告

令和4年1月・2月に、都道府県・指定都市民児協のリーダー

に求められる役割について標記研修会が開催されました。

● 内容

1. 映像教材・資料による学習

(1) 行政説明

(2) 講義

(3) シンポジウム

2. オンラインでのグループ

ワーク

テーマ「民生委員・児童委員活動、民児協活動をすすめるために、都道府県・指定都市民児協のリーダーに求められる役割」

3. レポート提出

テーマ「都道府県・指定都市民児協のリーダーとして求められる役割」

● 本県参加者(2名)

(レポートの一部抜粋)

戸田市民児協

会長 磯部 恒子

「民生委員・児童委員の一人ひとりにやって良かったと思ってもらえる様な活動ができて、少しでも地域の人々が安心していただけるように努力していきたいと思っています。」

川島町民児協

会長 中島 好則

「研修で得たリーダー像は傾聴能力と共感能力そして遂行能力の三本柱を中心に、組織を生かした活動施策の実現と委員一人ひとりと向き合う姿勢が必要だと思います。」

埼玉ゆかりの偉人紹介

日本女性最初の水上飛行機操縦士

西崎 キク 氏 (1912～1979年)



昭和9年 亜細亜航空学校で訓練中のキク氏
(提供: 上里町立郷土資料館)

大正元年(1912)11月2日、児玉郡七本木村(現上里町)生まれ、七本木小学校を経て埼玉県女子師範学校を卒業後、神保原小学校教師となりました。

昭和6年(1931)、群馬県尾島飛行場で行われていた新型飛行機のテスト飛行を見学したキクは飛行家を志し、東京の第一飛行学校に入學しました。その後、愛知県新舞子の安藤飛行機研究所の練習生となり、昭和8年8月二等飛行機操縦士試験に合格し、日本女性最初の水上飛行機操縦士となりました。10月には数万人の観衆を前に郷土訪問飛行を行いました。

さらに日本女性として初めての海外飛行を計画しました。海外飛行に必要な陸上飛行機免許を取得し、昭和9年10月愛機「白菊号」に乗り、全

国からのメッセージや慰問袋を積んで羽田・新京(長春)間「日満親善」飛行を行いました。この功績により翌年、国際航空連盟よりハーモントロフィーと終身会員証を授与されました。

その後は亜細亜航空学校で女子部の指導に当たり、各地で講演や映画会の開催に力を注ぎました。日中戦争開始の報に接して、患者輸送機の操縦士を志願しましたが、却下されました。

飛行機から降りたキクは、満州国北安省通北県老街基埼玉村開拓団に加わり、在満国民学校教師も務めました。昭和21年ソ連抑留中の夫を残して帰郷、昭和23年七本木開拓地に入植。昭和29年に教員を退職、以後農業に専念しました。同35年開拓体験記を書き農林大臣賞を受賞。上里町教育委員会社会教育指導員、日本婦人航空協会理事としても活躍しました。

埼玉県民協だより No.170号
令和4年7月1日発行

〈発行人〉大谷富夫 〈編集人〉寺田治子
〈発行所〉一般財団法人埼玉県民生委員・児童委員協議会
彩の国すこやかプラザ内

今後の予定

7月

5日	北部ブロック市町村民協会長連絡会議	行田市
8日	西部ブロック市町村民協会長連絡会議	狭山市
11日	南部ブロック市町村民協会長連絡会議	川口市
12日	正副会長会議	すこやかプラザ
12日	第174回理事会	すこやかプラザ
12日	県大会準備委員会	すこやかプラザ
20日	広報部会	すこやかプラザ
21日	地区民協支援部会	すこやかプラザ
21日	講師派遣	埼玉県立大学
26日	第164回評議員会	すこやかプラザ
28-29日	関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会	浜松市

8月

18日	正副会長会議	すこやかプラザ
23日	広報部会	すこやかプラザ
31日	地区民協支援部会 意見交換会	すこやかプラザ

9月

5日	埼玉県民生委員・児童員大会	埼玉会館
8日	地区民協支援部会	すこやかプラザ
15日	正副会長会議	すこやかプラザ
15日	広報部会	すこやかプラザ
21日	地区民協支援部会 意見交換会	すこやかプラザ

「民生委員・児童委員の声」 原稿募集中

▼170号は県民児協
広報部会Bチームで
編集、校正しました。

部会長	寺田 治子
副部会長	藤野 美佐子
副部会長	志子田 健一
部会員	今井 しげ子
部会員	臼井 秀
部会員	中村 文雄
部会員	岩田 義典

提出先

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65
彩の国すこやかプラザ
一般財団法人
埼玉県民生委員・児童委員協議会 広報係宛

編集後記

新型コロナウイルスのまん延防止

等措置が解除され、3年ぶりに自粛を求めないゴールデンウィークを、どのように過ごされたでしょうか？

コロナに阻まれた今期の委員活動も残りわずかとなりました。

一斉改選までに、施設研修や懇親会など、各地区でのイベントが一つでも多く行えることを願うばかりです。

(藤野 美佐子)